

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年10月17日 No. 30 文責：佐野紳二

SDGsについて考えてみましょう③

SDGsについての特集も今回が3回目になります。前回に続いて、今回も17の目標について書かせていただきます。まずは目標12から目標15、地球の環境を守ることをめざした目標です。

目標12 つくる責任 つかう責任

責任とは、「つくる人も使う人も『自分だけよければいい』と思うのではなく、みんなが幸せになるように考えて行動する」ということです。世界中で捨てられているプラスチックゴミの量は年間3億トンですが、リサイクルされるのはそのうちの10分の1です。食べ物は年間9億トン以上が食べずに捨てられてしまいます。



目標13 気候変動に具体的な対策を

気候変動とは、「地球の気温や天気がこれまでと変わって、生き物が生きられなくなってきている」ということです。ものを燃やしたときに出る二酸化炭素などが原因で、北極や南極の氷がとけて人が住んでいるところが海に沈んでしまったり、洪水や大雨などの災害が起きたりするおそれがあると言われています。



目標14 海の豊かさを守ろう

海の豊かさとは、「海の生き物たちが、これまでどおりに元気に暮らせる」ということです。海に暮らしている生き物の数は、1970年と比べて約半分に減っていて、このまま減り続けると絶滅してしまう生き物もいます。(絶滅する＝その生き物がすべていなくなってしまうこと)



目標15 陸の豊かさも守ろう

陸の豊かさとは、「森林や草原が豊かに広がって、陸に住む生き物たちが元気に暮らせる」ということです。世界では、毎年、北海道よりも広い面積の森林がなくなっています。また、約3万8500種類の野生動物は絶滅する恐れがあります。

絶滅の恐れがある動物たち



最後に紹介するのは、目標 16 と 17 です。SDG s の 17 の目標のまとめの役割がある 2 つの目標です。

目標 16 平和と公正をすべての人に

平和とは、「戦争をしないだけでなく、心や体を傷つけあわない」こと、公正とは、「おたがいのちがいを気づかい合ってみんなが幸せにいられる」ことです。昨年起こったウクライナでの戦争では、多くの人々が尊い命を落としています。また、世界の子どもの約半分に当たる 10 億人が身体や心に暴力を受けています。



目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう

パートナーシップとは、「みんなで力を合わせて、みんなが笑顔で暮らせる未来をつくっていく」ということです。世界にはユニセフ（子どもを支援するための国際連合の機関）をはじめ、困っている人に手を差し伸べようと活動している機関があります。みなさんにも、何かできることがあるかも知れませんね。



目標 12 から 17 までを紹介しましたが、最後の 2 つは 17 の目標全体をまとめる役割のある目標なので、やはり身近に感じる事が難しい感じがします。目標 12 から 15 まではこれまで「環境問題」として取り上げられてきた事柄なので、我々にとっても身近に感じられる目標のように思います。

こうした 17 の目標が示されているということは、裏を返せば、これらのことを目標として取り組みをしなければ、近い将来、地球全体が危機的な状況になりかねないという警告でもあるように思います。なので、少しずつでも、一つずつでも私たちにできることから取り組んでいく必要があるように思っています。

次回からは、こうした目標を達成するために私たちに何ができるか、その行動がどの目標と関わりがあるかを、できるだけ具体的に紹介していきたいと思えます。

次号は SDG s 特集をちょっとお休みにして、最近の学校生活のようすをお伝えする予定です。
(2 年生の校外学習や 5 年生の林間学校、6 年生の陸上記録会の取組など)
行事のようすはホームページにも掲載してありますので、お時間がありましたらご覧ください。

協議体の会議に参加しました

10 月 7 日の夜、改善センターで行われた橿形北小地区（曲輪田・桃園・上宮地）の協議体の会議に校長も参加させていただきました。協議体の皆様には、北小も大和川の草刈りや登下校時の見守り活動、夏休み中の子ども食堂など、さまざまな面でお世話になっています。この日は、普段の活動についての振り返りやこれからの目標について地区ごとに話し合いを行い、最後に発表をされていました。

話し合いに参加させていただき、地域での助け合い・支え合いを行っている活動がこの地区で行われていることが、とても素晴らしいなと改めて思いました。若い方の積極的な参加もお待ちしているそうです。

